

令和5年度第1回芽室町男女共同参画審議会

令和5年8月28日(月)19:00~20:00

庁舎 2 階会議室 7

出席委員(10名)

嶋野会長、伊藤副会長、大塚委員、珠玖委員、山崎委員、山口委員、中村委員、佐藤委員、柴田委員、野崎委員

事務局

石田政策推進課長、藤村政策調整係主査、天野主事

開会

政策推進課長

条例により議長は会長が務めることになっているため、ここからの進行は会長にお願いしたい。

会長

それでは、議題に入ります。(1)「第3期芽室町男女共同参画基本計画の概要」について事務局より説明をお願いします。

事務局

資料に沿って説明。

会長

今の説明に対し、質問・意見等はないか。

委員

質問・意見なし。

会長

なければ次の議題に入る。続いて、(2)「男女共同参画意識啓発の取組内容について」ならびに(3)男女共同参画に関する各課の取組実績について、事務局より説明をお願いします。

事務局

資料に沿って説明。

会長

今の説明に対し、質問・意見等はないか。

委員

質問・意見なし。

会長

余談だが、(3)「男女共同参画に関する各課の取組実績について」の②お父さん応援講座については、北海道から依頼を受けて、10年以上講師をしている。昨年はリモートで講演を行い、自治体ごとでも、お父さん達の育児熱が高い場所とそうでない場所が別れている印象を受ける。今まで1番熱の高かった自治体は、恵庭市である。「サンデーパパ」という、日曜日にお父さんがお子さんを連れだして遊ぶというものを月1回ほどしていて、その間にお母さんたちにはリフレッシュしてもらっているようだ。お父さんたちは、わらべ歌を歌ったり、お子さんのふれあい方が上手で、自治体がどう取り組んでいるかでお父さんの意識が変わってくると感じる。郵便局でも、今年から育休取得率100%を目指しているそうだが、勤務的に長期間休むのは難しいようで、取得希望者は最低でも3日間というのを目標にしている。ということであった。

委員

お父さん応援講座の参加者はどのくらいなのか。

会長

リモート開催の時は、600名、自治体訪問だと10人を超えるくらいであった。

委員

町内会の集まりでは、お母さんよりも、お父さんと子どもたちで出ていることが多い。お父さんが協力的なのはすごく大事なことである。芽室町で講演はしていたのか。

会長

北海道の事業として、10年ほど前に1回やっている。

会長

他に質問・意見がなければ、次の議題に入ります。(4)「まちづくりに関する住民意識調査の結果について」、事務局より説明をお願いします。

事務局

資料に沿って説明。

会長

今の説明に対し、質問等はないか。

委員

今回初めて男女共同参画審議会に参加したが、政策推進課ではこの審議会ではどのようなことを求めているのか。そして、今までの実績・調査の結果ついて、どのように感じているのか教えてほしい。

事務局

実績・調査の結果については、まだまだだと感じている。データの取り方が違い、参考にならない年もあるが、年々調査の結果が下がってきている。改善していきたいが、なかなか特効薬もないため、皆さんの知恵を貸してほしいと考えている。資料に関する事で、そうでなくてもなにか意見があれば頂きたい。

委員

資料の中で、人権擁護委員が学校で講演をしていることはわかるが、講演後の反応などについての掲載がないため、それを提示してもらえれば今後どうしていくべきか話し合うことができると思う。

委員

人権擁護委員は、幼稚園や学校に向けて昨年は18回ほど講演をしている。思いやりや命の大切さについて講演をしていたが、講演後、学校に反応を聞いていなかった。

アンケートについては、男女共同参画についてだけでなく、他にも項目があり細かく聞くことができないため、男女共同参画だけのアンケートがあれば詳しく聞けるのではないか。

事務局

このアンケートは全部で46問質問があって、そのうちの10問は自由記述の欄がある。しかし、男女共同参画についてはその欄が今はない状況。今年の調査時に、自由記述を加えられるか検討をしていく。男女共同参画に関するアンケートは、R3年に事業所に対しては行っている。社会の情勢の変化に応じて、事業所はどのようにしているかを調査をするもので、毎年行っているものではない。

委員

第3期芽室町男女共同参画基本計画は、内容を見ると最近のデータでないため最新ではないのか。そして、男女共同参画に関するパネル展の内容は、日本全体の話なのか。

事務局

基本計画が最新なのかという点について、この基本計画は H30 年度に作ったもので、その時にある情報で作られたものになる。基本計画の改定は、町の最上位計画である総合計画の改定のタイミングに合わせて行う。しかし、13 ページにある目標値については H34 年時点のものになっているため、R8年の目標値に変えなければならない。その部分については、次回の審議会ですでにどうするか決めたいと思う。そのほかの部分でも、社会情勢の関係で避けたほうがいい文言などがあれば、計画に反映させたいと思う。

委員

第 3 期が最新であることはわかったが、第 4 期はいつつくられるのか。

事務局

第 3 期が R8 年までのため、R9 年になる。

事務局

男女共同参画に関するパネル展については、国のテーマの中から、その年のトレンドなどを踏まえて、よさそうなものを展示している。

委員

このパネル展に対しての意見だが、今まで行っていた展示に、更に芽室町の現状と課題についての展示を加えると、より興味が沸く人が増えるのではないと思う。男女共同参画の目線で芽室町の状況についての展示物があったらいいのではないか。

事務局

来年に向けて検討する。

委員

芽室町の現状を知ってもらうのはいいこと。できるかはわからないが、小学校の授業の 1 時間分を使って、男女共同参画に関する芽室町の現状を知ってもらう時間を作ってもいいのかと思う。大人にはなかなか伝える機会がないと思うため、子どものうちから伝えていくのがいいのではないか。

委員

基本計画の中で、町民ワークショップについて書いてあるが、(9 ページ)最近では開催しているのか。時代の流れもあるし、6 年前と今とでは町民の意識も違ってくると思うため、もし今も開催しているのであれば、それを皆さんに知ってもらう方法はないのか。

事務局

現在、男女共同参画のワークショップはやっていない。H29年の時は、勝間和代さんと呼んで講演会を実施し、そのあとにワークショップをしていた。H30年は、子育て支援課によりイクボスの関係で講演会を実施し、17人の参加があった。R1年も防災の関係で講演会を実施したが、参加者が年々少なくなっていることから、R2年以降は開催を見送っている。現在政策推進課として行っているのは、パネル展のみになる。

委員

今年、パネル展を開催していた時期に、めむろ一どでイベントは行っていたのか。

事務局

他の団体が土日イベントを行っていた。

委員

パネル展には、どのくらいの方が来られたのか。その場でアンケートなどはとっていたのか。

事務局

アンケートの配布は行っていない。何人見に来られたかのカウントも行っていなかった。しかし、パネル展に関するチラシを設置したところ、数枚なくなっていたため、興味のある方が数名いらっしまったのではないかなと思う。開催前の周知をもっと積極的にやっていかなければならないと感じた。

会長

性の多様性・SDGsについては、子供たちの授業に取り込まれているため、大人よりは、子どもたちの方が意識が強いのかなと思う。昔の学生は、そういう教育を受けていなかったため、大人たちの意識を変えるためにも、このようなパネル展や講演会は大事だと思う。セミナーホール 2階は用事がないとなかなかいかない場所であるため、ただやればいいのかではなく、多くの人に見てもらうにはどうしたらいいかを踏み込んで考えなければならない。参加者が減少していったという理由で講演会も控えていると思うが、パネル展とリンクする何かがないと、もったいないのではないかなと思う。

委員

パネル展に関して、多くの人に見てもらえるかという点では、やはり 2階はなかなか行かないため、人が集まる場所やタイミング、例えば、お祭りで展示をしてもいいと思う。駐車場から会場までの一角で展示をしてみてももらうなど、何かイベントと同時開催でもいいと思う。人が集まる場所としては、めむろ一どの 1階や駅、ダイイチなどのスーパーでもいいと思う。開催場所などやり方は、考えればいい方法がありそうだと思う。

委員

パネル展を見たら、きれいに展示されているけど、活字ばかりであまり見る気が起きない。公民館のロビーでも色々なイベントで展示がされていて、飾りや大きな立体的なものがあると目に入るようになってくる。更にそこに人がいれば、アンケートをとったりして町民の声を聴くことができると思う。人手が足りないのであれば、審議会委員で対応するなどしてもいいのではないか。

委員

今のパネル展だと、知っていてもいくのか、というところもある。行くメリットとして、例えば「アンケートに答えることで〇〇のクーポンをプレゼント！」などがあれば、来る人は来るのではないか。

委員

パネル展について、学校で子どもたち向けの掲示をし、年齢に合わせたアンケート方法、例えばどのくらい関心があるかシールを貼ってもらいアンケートを取ることもいいと思う。タブレットを使ってゲーム感覚で回答ができるようにすればもっと意見がとれるのではないかとも思う。

会長

委員の皆さんから良い意見が出ているので、今年度行うことが厳しくても、今後事務局として取り組んでいってもらえたらと思う。

続いて、(5)第2回審議会の議題について、事務局から概要の説明をしたあと、委員の皆様からそれぞれ意見をいただきたい。まずは、事務局から説明をお願いします。

事務局

資料に沿って説明。

会長

今の説明に対し、質問・意見等ないか。

委員

質問・意見なし。

会長

それでは、委員の皆様からそれぞれ意見をお願いします。

委員

民生委員に関しては、一人暮らしの高齢者の自宅へ訪問する際、女性の委員は、同性の所へは訪問しやすいが、異性の所に行きづらいのが現状。男女の壁があるので活動しにくいと感じる。

委員

障害のある子どもの学童で働いているが、保育士ということで、ほとんどの職員が女性である。保育士は体力が必要な仕事でもあるため、力仕事があるときは男性職員に頼ることになるが、男性職員が職場で 1 人しかいないということがある。保育士という職業=女性というのが結びついていると感じる。

委員

PTA の関係では、PTA 会長は男性というのが暗黙の了解であることで、新しく役員を探すのが大変であったり、父会・母会の名前が男女共同参画の観点から男女隔たりのない名前に代わり、父会だった方には新たに女性もいるが、逆の母会だった方には、男性が今もいない。これは根底の男女の考え方を変えないとなかなか難しいと感じる。また、農協でも女性の理事を挙げる話が出ているが、今は少し無理やり感があるように感じる。無理にすることでもないのではと思うため、時間と準備が必要である。

会長

芽室小学校の PTA 会長は女性になり、新しい風が吹いているように感じる。何年か前、この審議会のグループ分けで話し合いをしたとき「ごみは捨てない」といった男性がいた。周りの目を気にして、男性はそんなことをしないものと思う方だった。だが、今の時代は、例えば子供が発熱したときに父親が休んでもいい、参観日も平日に男性が参加してもいいというようなフラットさが必要と感じる。

会長

何かほかに次回の審議会で、話し合いたい議題がある方はいないか。

委員

【意見なし】

会長

今この場で、次回何を話し合うか決めるのは難しいと思うため、今日の会議で上がった皆さんの意見や考えを踏まえて、事務局で議題を考え連絡することにする。

以上をもって、本日の審議会は終了となる。お疲れ様でした。

(20:00 終了)